

実施計画事後評価（H26完了事業）

番号	事業名	担当課	事業内容	期間 (年)	総事業費 (円)	指標名 (単位)	事業開始値 (A)	最終目標値 (B)	最終実績値 (C)	達成率 (%) (C)-(A)/(B)-(A)	評価	評価に対する理由など (未達成の理由、事業の効果、今後の課題など)
1	特定健康診査受診率向上対策事業	健康づくり課	特定健康診査の受診者の自己負担を無料化することで、受診率を向上させ、疾病の早期発見・重症化予防を図る。(受診率目標 60%)	3	15,793,000	特定健康診査受診率 (%)	21	45	35.5 (未確定値)	60	未達成	受診率向上の取組として、モデル地区を設けた事業等を実施。平成26年度の実績速報値はまだ出ていないが、目標値に至らない見込みである。平成27年度より小学校区単位の健康づくり事業を始動しており、引き続き重点課題とし取り組んでいく。
2	特定健康診査時心電図検査拡充事業	健康づくり課	心電図検査を軽症高血圧(I度以上(上140/下90))を対象に実施することで、心臓の異常な動きや全身に及ぶ血管変化を早期に発見できる。脳梗塞や心筋梗塞、慢性腎臓病など予防可能な病気の早期発見・重症化予防に取り組み、市民の健康な生活を守ることを目的とする。	3	5,105,995	既往歴がなく異常が初めて発見された人数 (人)	164	250	439	320	達成	特定健康診査時の心電図検査拡充により、早期に異常を発見できることが重症化予防につながっている。引き続き重点予防事業として取り組んでいく。
3	めじゃ〜リーグ事業	健康づくり課	福岡市と連携し、歩数計を活用した新たな健康づくり事業を行い、勤労者世代からの生活習慣病予防を図る。	1	5,569,223	40〜50歳代の人の参加者の割合 (%)	49.5	80.0	71	70	未達成	目標値達成には至らなかったが、ICTを活用した非対面式運動支援プログラムという事業特性から、壮年層・就労層にアプローチができた。また、終了時アンケート結果から、運動の習慣化、食生活の変化等、生活習慣改善の効果が得られた。
4	健康ふれあい施設整備事業(建物調査)	健康づくり課	糸島市健康ふれあい施設「二丈温泉きららの湯」の施設の状態を調査し、今後の改修・修繕を計画的に実施することを目的とする。	1	453,600	改修・修繕計画の策定	—	策定	調査のみ実施	—	その他	施設の建物・設備について、改修・修繕必要箇所や緊急性・安全性に基づく優先順位付け、工事費等の積算額の把握ができた。なお、平成28年度に「糸島市公共施設等総合管理計画」において、全庁的な改修等計画が策定されることとなった。
5	生活困窮者自立促進支援モデル事業	福祉支援課	「生活困窮者自立支援法(H27.4.1施行)」に基づく新制度を想定した支援を試行的に実践するとともに、制度施行に向け、地域における生活困窮者支援の体制整備を行う。	1	9,807,134	相談・支援の実施により、生活困窮者の自立を促した数 (件)	0	3	1	33	未達成	本制度の対象者は、生活保護に至る可能性がある方で、かつ自立が見込まれる方であるが、実際の相談のほとんどが、本人の病気や障害の受容に向けた支援や他法他施策へのつなぎ等福祉総合相談の要素が強いものであったため、支援プランの作成が1件に止まった。なお、1月から3月までの事業期間中の相談受付件数は36件であった。
6	放課後児童クラブ整備事業	子ども課	入所児童の急増により、厚生労働省令による、保育スペース1人当たりの1.65㎡を大きく下回っている。施設の増設により児童の活動スペースを確保し、児童の健全育成を図る。	3	121,991,655	児童1人当たり保育スペースの確保 (㎡/人)	0.79	1.65	2	121	達成	引津第2放課後児童クラブを新設したことで2施設に分け、児童の活動スペースを1.65㎡以上確保することができた。児童の安全及び児童健全育成事業の充実を図ることができる。
7	子ども・子育て支援事業計画策定事業	子ども課	「子ども・子育て支援法」(平成24年8月制定)に基づき、子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うために、「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、地域の子育て支援の充実を図る。	1	2,074,360	子ども・子育て支援事業計画書策定	0	策定	策定済	100	達成	子育て支援策の方向性や具体的な目標を総合的に定めている糸島市次世代育成支援対策行動計画(糸島市子ども・子育て支援事業計画)を策定した。計画における各取り組みを進めていくことで子育て支援の充実を図ることができる。
8	小中学校防災機能強化事業	教育総務課	小中学校教育施設の防災機能強化(建物の非構造部材(外壁、天井、照明器具等)の耐震化工事)	2	46,877,070	安全確保された施設数 (校)	0	2	2	100	達成	地震時における基本的な安全対策工事が完了し、避難所としても安心して利用できるようになった。 【課題】屋内運動場等における天井落下防止対策は、平成27年度で一応完了するが、その他建築物における対策工事が一部残ることや、老朽化に伴う壁、器具等への対策が今後必要となる。
9	二丈中学校プール新築事業	教育総務課	中学校教育環境整備(プール未設置校に施設を整備し、教育施設の均衡を図る)	3	137,662,384	各学校へのプール設置 (校)	4	5	5	100	達成	中学校プール整備が完了したことにより、二丈中学校、福吉中学校の水泳授業の充実が図られる。 【課題】福吉中から二丈中への移動は必要であり、授業時間の均衡を図るための方策の検討が必要である。
10	段ボールコンポスト普及促進事業	生活環境課	段ボールコンポスト講習会開催時に、参加者にコンポストを配布し利用してもらうことで、普及につなげる。	2	777,400	補助個数 (個)	3,966	4,800	3,333	△76	未達成	段ボールコンポスト講習会を実施し、市民のごみ減量に関する意識向上はできたものの、段ボールコンポストの補助個数を増加させることができなかった。 今回の配布者に対し、継続して使用してもらえるようフォローしていく。
11	公共施設防災拠点等再生可能エネルギー導入推進事業	生活環境課	福岡県環境保全基金を活用して、市内の防災拠点等に太陽光発電設備+蓄電池を設置し、災害に強く、低炭素のまちづくりを展開するために実施するもの。	2	65,051,400	防災拠点への太陽光発電設備及び蓄電池システムの導入施設 (箇所)	0	4	4	100	達成	健康福祉センターふれあい、志摩庁舎、二丈庁舎、姫島小学校・志摩中学校姫島分校の4か所に太陽光発電設備及び蓄電池システムを導入。停電時に施設内の一部に電力を供給できるようになり、防災力が強化された。また、通常時の電気代の削減及び地球温暖化防止のための二酸化炭素削減になるほか、市民への再生可能エネルギー普及啓発効果が期待される。
12	婚活支援事業(緊急雇用創出事業分)	地域振興課 (学研都市づくり課)	婚活を支援することで、市内の婚姻件数を増やし、農漁業及び商工業従事者の後継者問題の解決をはじめ、出生件数の増加による人口の自然増を目指す。	2	5,442,703	婚活事業での成婚件数 (組)	0	30	8	27	未達成	本事業は、NO.13婚活支援事業とセットで事業委託を行い、婚活イベント、結婚相談会、お見合い、婚活応援サポーターの育成などに取り組んだ。この事業は、婚活支援とともに、市内の婚活支援団体の育成も目的の一つにしており、3年間の事業を通じ、団体育成は達成できた。目標値は、出会いの場の提供等を行い、交際をスタートさせたとしても、成婚までに時間が必要なため、目標達成には至らなかった。

13	婚活支援事業	地域振興課 (学研都市づくり課)	婚活を支援することで、市内の婚姻件数を増やし、農漁業及び商工業従事者の後継者問題の解決をはじめ、出生件数の増加による人口の自然増を目指す。	3	1,744,950	婚活事業での成婚件数(組)	0	30	2	7	未達成	※NO12とNO13の事業は一体的に実施したため、上記のとおり。
14	新婚生活応援祝い金事業	地域振興課 (学研都市づくり課)	子育て世代の定住を促し、人口の維持・増加と人口の年齢構成を改善するとともに、地域経済の活性化を図り、活力ある地域社会を築くことを目的とする。	2	7,560,000	市内で提出された婚姻届の件数(件/年)	364	450	406	49	未達成	新婚生活応援祝い金は、平成25年度105件、平成26年度150件の申請があった。糸島市商工会商品券3万円の支給により、地域の活性化には貢献できたと考えられるが、申請時の聴取等によると、この事業が転出抑制や転入促進につながっていないことから、26年度をもって事業を廃止した。
15	定住化空き家活用・再生推進事業	施設管理課	市外から転入する人で、市内の空き家をリフォームして、そこに住む場合、リフォーム費用の2分の1以内、50万円(夫婦のいずれかが40歳以下の場合70万円)を限度に補助する。	2	2,878,000	空き家活用リフォーム事業による定住人口(人)	0	90	31	34	未達成	空き家活用リフォーム補助金は、平成25年度4件、平成26年度7件の補助を行ったが、申請時の聴取等によると、この補助金が転入促進の効果を高めているとは考えにくい。また糸島市マイホーム取得奨励金の創設により、二重補助となることから、26年度をもって事業を廃止した。
16	新駅自由通路等都市計画決定図書策定事業	都市計画課	駅を中心に徒歩圏で生活できる市街地形成を図るため、筑前前原駅と波多江駅間に新たな拠点として新駅の整備に合わせて自由通路及び南北の駅前広場、停車場線の都市計画決定を行うもの。	1	6,629,480	図書策定の有無	未策定	策定済	策定済	100	達成	新駅の自由通路及び南北の駅前広場については、概略設計を行い、関係機関との協議を重ね、都市計画決定図書の作成を行った。なお、停車場線については、関係機関と協議を行った結果、都市計画決定を行わずに事業を進めることとしたため図書の作成は行っていない。
17	都市公園整備事業	都市整備課	市民意識調査で市民ニーズが高い前原北部地区の公園整備を行うことにより、憩いの場、レクリエーション活動などの場を確保する。	1	75,306,000	前原小学校区一人当り公園面積(m ² /人)	4.87	5.12	5.12	100	達成	前原校区一人当り公園面積は向上し当初の目的は達成された。しかし、糸島市全体では5.06m ² /人で福岡県の一人当り公園面積9.3m ² /人を下回っており、今後の課題である。
18	運動公園等整備事業	企画秘書課 (経営企画課)	運動公園整備に関する市民のニーズに応え、本市のスポーツ振興や市民の健康づくりの場の整備を検討するとともに、大規模災害が発生したときに防災施設として活用できる施設を整備するための構想策定を目的とする。	1	5,101,500	構想策定の有無	—	策定	策定済	100	達成	平成27年4月策定 策定された運動公園等整備構想に基づき、平成27年度中にPFI導入可能性調査を実施し、PFI導入の可否を判断
19	溝添宮園線整備事業	建設課	この道路は、4.5mと狭く片側には排水路があり、この排水路を暗渠にすることにより、歩道の設置及び道路を拡幅し、一般歩行者及び通学者の安全を確保する	3	13,761,360	路線の歩道設置延長(m)	0	100	74	74	未達成	工事発注において全路線の発注を行ったが、2度の入札で業者の辞退が生じたため、工事長を見直し3回目の入札で業者を決定し施工した。よって、残り工事長L=26mの工事を翌年度に実施し完成させる。
20	大塚新開池線整備事業	建設課	泊カツラギ地区地区計画区域内の旧区画幹線道路予定箇所であり、地区計画区域内の交通安全を確保する。	2	17,410,763	路線の取付延長(m)	0	70	73	104	達成	計画に沿って事業が完了し、利便性及び安全性が向上した。
21	岐志地区道路整備事業	建設課	現況の出入りが、県道に対し鋭角になっており危険である為、新規に道路を整備し、危険性の回避と利便性及び交通安全の向上を図る。	2	11,242,735	道路整備率(%)	0	100	100	100	達成	計画に沿って事業が完了し、利便性及び安全性が向上した。
22	下新開線整備事業	都市整備課	交通混雑の解消、利便性及び交通安全の向上を図る。	9	876,225,000	整備率(%)	0	100	100	100	達成	交通混雑の解消、及び利便性・安全性が向上した。
23	波多江泊線交通解析事業	都市整備課	国道202号から同バイパスを結ぶ波多江泊線整備事業は、現在4車線で計画しているが、決定時の交通解析が第3回パーソントリップ調査(平成5年)をもとに解析しており、かなりの年月が経過している為、直近の交通量調査により見直しを行い、2車線への可能性調査を行う。	1	4,860,000	2車線整備での可能性調査	—	可否決定	2車線整備で可能との結果を得た	100	達成	・財政負担の軽減 (当該路線の整備効果) ・国道202号、県道瑞梅寺池田線等の交通混雑の緩和 ・九州大学との連絡機能の強化
24	特定環境保全公共下水道事業(雨水管渠整備)	下水道課	降雨時における浸水の防除のため、内水排除施設の整備を目的とする。	1	12,815,280	整備面積(ha)	0	5	5	100	達成	雨水管渠整備により浸水解消が図られるので目標は達成された。
25	長糸中央公園土砂災害防止対策事業	都市整備課	土砂災害特別警戒区域の指定解除対策	3	67,028,000	安全な公園の利用	土砂災害特別警戒区域指定	土砂災害特別警戒区域解除	土砂災害特別警戒区域指定区域解除	100	達成	平成26年度で工事は完了している。現在、福岡県にて土砂災害特別警戒区域指定解除に向けて調査を行っており、平成27年7月に指定解除になる見込み。
26	福吉漁港導流堤内消波施設設置事業	水産商工課 (水産振興課)	福吉漁港導流堤内に消波施設を設置することにより、台風等荒天時の遡上波を軽減し、漁業集落の安全安心を確保し、漁業の育成を図る。	1	25,799,040	福吉川福井川の合流地点での遡上波の軽減(cm)	55	34	34	100	達成	本事業により、福吉漁港導流堤内に消波ブロックを設置することで、遡上波の軽減が図られ、漁業集落の安全安心につながった。
27	笹山配水池耐震補強事業	水道課	老朽化した笹山配水池の補修及び耐震補強を行い、水道水を安定的に供給することを目的とする。	1	64,584,000	笹山配水池耐震補強率(事業費ベース)(%)	0	100	100	100	達成	老朽化した笹山配水池の補修と耐震化補強を行ったことにより、水道水の安定供給と配水池下地域の安全確保(地震による配水池崩壊防止)を行うことが出来た。
28	防災資機材配備事業	危機管理課	災害時要援護者への避難支援及び自主防災組織による避難活動が確実かつ円滑に行われるよう、防災資機材の配備を進め、地域防災力の強化を図る。	2	2,299,650	要援護者支援のためのリヤカーの数(台)	16	33	33	100	達成	自主防災組織による要援護者の支援が円滑に行われるよう指定避難所である各校区公民館にリヤカー等資機材を配備した。今後は、配備している資機材等を活用した避難訓練等を行い万が一の災害に備える必要がある。

29	災害時支援物資備蓄事業	危機管理課	災害に備えて、市民の備蓄を補完するため、地震被害想定における最大避難者数（4,400人）を基準に備蓄食料の整備を行う。	2	3,293,829	想定最大避難者数の水・白飯備蓄食数（食）	0	13,200	13,200	100	達成	地震被害想定における最大避難者（約4,300人）を基準に食料等を備蓄したことにより、災害発生時の避難者の食料等を確保できた。食料等の備蓄に関しては、備蓄期間があることから5年毎入れ替えていく必要がある。
30	姫島福祉センター原子力災害対策改修事業	危機管理課	原子力災害時に時化等により即時避難が困難な姫島住民の一時的な屋内退避施設を確保するため、姫島福祉センターに放射線防護機能を備えた設備を整備する。	1	171,877,540	放射線防護設備の設置（%）	0	100	100	100	達成	万が一、原子力災害が発生し、離島である姫島の住民避難が困難な場合においても、今回整備した放射線防護施設で屋内退避することにより放射線被ばくの軽減が図られる。
31	消防団訓練服購入事業	警防課	全消防団員、消防委員会等の訓練服（夏服）を購入する。	1	9,808,354	消防団夏用訓練服の整備率（%）	0	100	100	100	達成	夏用訓練服を導入したことで夏季の訓練、活動時において熱中症対策等に大きな効果を上げている。
32	土砂災害ハザードマップ作成事業	危機管理課	県が指定した土砂災害防止法に基づく警戒区域等を参考に現在全校区毎に配布している土砂災害ハザードマップを修正し、全戸に配布することで市民に土砂災害警戒区域の周知を図るとともに万一の災害時に備える。	1	813,888	土砂災害危険区域を持つ行政区でハザードマップを活用して避難訓練を実施した行政区の数	—	80行政区	—	—	その他	平成25年度に福岡県が指定した土砂災害警戒区域を住民に周知するため、現行のハザードマップを更新し、全戸に配布した。全戸配布を平成26年度末に行ったため、現時点で自主防災組織による避難訓練での活用は、確認できていないが、今後の訓練時は確実に利用が図られるようになる。
33	原子力災害広域避難経路図作成事業	危機管理課	万が一、原子力災害が発生し、避難が必要となった場合に迅速な避難対応ができるよう、広域避難所までの避難経路図を作成し、原発から30km圏内の住民に配布する。	1	0	説明会等により避難経路図を活用して計画説明を行った行政区の数	—	44行政区	—	—	その他	福岡県と協議を行い、避難経路図については、県が作成することとなった。対象地域への説明会については、佐賀県と福岡県で渋滞時の対応について協議中であることから、協議が整い次第実施していく予定である。
34	防火服更新事業	警防課	現配備の防火服一式の更新を行う。	2	13,391,736	新ガイドラインに適合しない防火服一式数（セット）	69	0	0	100	達成	経年劣化した防火服を更新したことで、装備上の安全をより確保したうえで消火活動を行うことができ、消防活動の充実を図ることができた。
35	通信指令施設部分更新事業	警防課	通信指令施設部分更新工事を行う。	1	5,227,200	施設の老朽化率（%）	20	0	0	100	達成	通信指令設備の老朽化部分を更新したことにより、円滑に通信指令事務を遂行することができ、安定した119番受付体制を維持することができている。
36	糸島市有料老人ホーム等スプリンクラー整備事業	福祉支援課	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用し、補助対象となる有料老人ホームにスプリンクラー設備等を設置することで、入居者の安全の確保・強化を図る。	1	26,078,000	有料老人ホームにおけるスプリンクラー設備等の設置	0	1	1	100	達成	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用し、シルバーホーム瑞宝の里にスプリンクラーを設置した。
37	ご当地ナンバー導入事業	税務課	糸島市オリジナルの車両ナンバープレートを作ることにより、市民にはまちへの愛着を深めていただき、対外的には知名度をアップさせ、まちをPRしたい。その結果として、この地に住み続けたい、住んでみたいという市民のハートをつかみ、定住者増につなげる。	1	1,166,960	市民モニターでのご当地ナンバー認知度（%）	0	90	0	0	その他	ご当地ナンバー導入事業では、デザイン公募、デザイン最優秀賞表彰式、ナンバー交付式等マスコミへの発表により、市の知名度アップ及びまちのPRに活用することができた。今後さらなる普及PRにより、この地に住み続けたい、住んでみたいという、定住者増にもつなげる。 （なお、交付開始が4月のため市民モニター調査は未実施。）
38	コミュニティ助成事業	地域振興課	自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、行政区の備品やコミュニティの拠点となる施設を整備することで地域活動を活発にし、伝統継承や青少年・後継者育成をさらに進めることで、地域コミュニティの活性化につなげる。	1	2,500,000	地域住民の行事・催事の参加者数	1,500	2,000	2,500	200	達成	二丈絆太鼓の大型の太鼓の備品の整備を行い、より一層充実した練習や演奏活動を行うことができるようになった。また、今まで以上に多くの地域の行事や催事で演奏活動もできるようになり、地域住民の交流や融和も図られ、地域の芸能の活性化にも繋がっている。
39	旧波多江公民館解体事業	生涯学習課	市内の校区公民館は、1校区1館を基本に設置しており、今回、波多江公民館の建替えにより旧公民館を解体し、学校施設用地として整備を図る。	1	11,134,000	26年度中にしゅん工（年月日）	26年度に着工する	26年度中にしゅん工させる	H26.12.3しゅん工	100	達成	解体工事完了後、当該地は波多江小学校用地として教育総務課へ移管した。
40	伊都国歴史博物館改修工事	文化課	伊都国歴史博物館北側棟（旧館）は、昭和62年に開館した施設であり、建設後、26年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。特に冷暖房空調はその効果を発揮していない状況であるため、全面的な改修工事を実施する。	3	33,213,000	館内冷温水配管更新工事（%）	0	100	100	100	達成	旧館館内空調機器の更新工事の完了によって、夏季、冬季の館内温湿度環境が改善され、来館者から好評を得ている。
41	伊都国歴史博物館開館10周年記念事業	文化課	伊都国歴史博物館の開館10周年を記念してイベントを開催することにより、市民の郷土愛の増進を図るとともに対外的に歴史の町糸島市を積極的にPRすることを目的とする。	1	2,300,251	イベント開催等による博物館周知度の向上、来館者数の増加（人）	0	1,000	1,000	100	達成	26年度の上半期に鑄造体験教材を製作するとともに、体験講座の指導ボランティアの育成も行い、年度中に市民向け鑄造体験会を開催することができた。また、1月31日（土）、2月1日（日）の2日間、伊都国古代史フォーラムを開催し、市の内外から多数の聴講者を迎えることができた。
42	史跡怡土城跡保存修理事業	文化課	史跡怡土城跡を崩壊から守るために、保存修理工事を行う。	1	4,710,000	保存修理工事の実施（箇所）	0	2	2	100	達成	予定どおり実施し、予定箇所の保存整備を完了した
43	糸島方言かるた制作事業	文化課	地域に古くから伝わる「糸島方言」を活かしたかるたや双六などを作成することによって、地域への愛着効果や愛郷精神を高め、更に、市外の人からの興味・関心を高め、「糸島」のPRや発信にも役立つ。	1	3,583,000	かるたと双六の制作	0	1	1	100	達成	予定どおり実施し、「糸島方言かるた」として印刷を完了した

44	政策企画研修事業「いとしま政策企画塾」	人事課	職員の政策形成能力の向上を図るとともに、各業務における政策形成の核となる職員を育成する。	1	2,217,035	研修受講職員数(人)	18	36	36	100	達成	受講生18人が研修を修了し、政策形成能力の向上を図った。また、研究成果発表会を開催するとともに、研究成果報告書を作成し、各課等に配付した。
45	人事評価システム導入事業	人事課	○人事評価制度の定着化 ○人事評価の処遇への反映 ○人事評価事務の効率化及び時間外勤務の削減	1	4,428,000	管理職員への処遇反映	—	処遇反映	一部反映	50	未達成	昇格等は人事異動時に人事評価結果を参考にしている。給与等への反映については、人事評価審査委員会において、平成28年4月からの改正地公法施行から、処遇反映のための評価を行う予定で協議中。
46	高齢者福祉サービスシステム化事業	福祉支援課	高齢者福祉サービス業務をシステム化し、サービス利用者の増加に伴う事務の簡素・適正化、及び利用者データの管理の適切化・人件費の抑制を図る。	1	4,190,400	平成25年度処理件数の年間事務時間(時間)	2,351	1,542.0	1,542	100	達成	高齢者福祉サービス業務をシステム化したことにより、事務の簡素化を図ることができ、サービス利用者の増加に対応できるようになった。また、データ管理を適切に行うことが可能となった。
47	活力ある高収益型園芸産地育成事業	農業振興課	園芸農業の生産額を増大し持続的発展を図るため、先進技術の導入や省力機械・施設等の整備を進め、収益性の高い園芸産地を育成する。また、省エネルギー化推進、雇用型経営支援、6次産業化推進による規模拡大及び経営の安定を図る。	6	637,695,000	延べ事業実施主体数(件)	0	61	60	98	未達成	目標を1件下回ったが、6年間の実績合計：60事業主体の規模拡大、省エネ化や省力化及び雇用増により、各経営体の所得向上や本市における園芸産地の振興が図られた。
48	県営農地防災事業	農林土木課	井堰施設整備統合を行い、農用地、農業用施設の災害の発生を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。	9	1,424,520	年管維持管理時間(時間)	年間20日×2時間=40時間	年間20日×0.25時間=5時間	年間20日×0.25時間=5時間	100	達成	H18年度から4カ所(投石地区、後川前地区、中地区、高田地区)の井堰を自動転倒式鋼製ゲートに更新し、井堰の維持管理労力の省力化を図ることができた。
49	中山間地域等直接支払事業	農業振興課	耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持・多面的機能を確保する観点から、中山間地域等直接支払交付金を交付する。	5	162,513,000	事業内農地の耕作放棄地面積(ha)	0	0	0	100	達成	H26実績で市内の中山間地域：17集落で、2,071,576㎡(207.1ha)の農地の農業生産活動をととして、農村の景観維持、水源涵養や洪水防止等の公益的機能が維持された。 なお、H27年度以降は「日本型直接支払制度」開始に合わせ、第4期対策に取組む予定
50	農水産物集荷促進事業	農業振興課	福吉交流ふれあいセンター(市有財産)の指定管理者である(有)福ふくの里の集客力増、生産者の意欲向上及び担い手確保を図るため。	2	3,044,217	延べ集荷数(箱/年)	0	4,000	3,532	88	未達成	100%達成までには至っていないが、年間883件の集荷を行うことができた。これにより、地域の高齢化に伴う出荷量の減少に歯止めをかけ、商品不足による客離れを防止できた。今後、出荷者の間で集荷作業が定着化し、さらに促進されることで、来店者数や売上額の増加が期待される。
51	新品種・新技術導入支援事業	農業振興課	糸島市九州大学連携研究助成金制度等の成果を、農業者団体等が農畜産物の生産、加工、流通の過程で所得向上を図るための新品種の導入等を支援するため。	1	277,776	調査着手件数(件)	—	2	2	100	達成	■九州大学が研究・開発した新品種ブドウ「BKシードレス」については、「試験栽培用苗木」16本を「BKシードレス研究会」の会員6名が試験栽培を開始。3年後、初収穫の予定 ■九大内野先生が研究助成金を活用して研究された「甘夏の長期保存技術」について、JAや生産者と連携して、H27年3月から新技術(殺菌処理)を施した甘夏の保存テストを開始。今夏、試験的に市場出荷を試みて、次年度以降の商品化について検討予定
52	水産業振興対策事業(カキ洗浄機設置事業)	水産商工課(水産振興課)	冬の風物詩である焼きカキ販売は盛況であり、カキ小屋も22軒から28軒に増え、カキ水揚げ量も更に増加した。このため、輪番制によるカキ洗浄で待ち時間が長く夜中の作業となっている。これらを解消するため洗浄機を整備する。	1	26,676,000	1t当たり処理時間(時間)	12.5	1	1	100	達成	本事業により、カキ洗浄機を設置することで、洗浄作業時間の短縮が図られ、カキの安定供給につながった。
53	福岡県水産業振興対策事業	水産商工課(水産振興課)	糸島漁業協同組合員の漁労活動と作業効率及び生産性の向上を図るため、県補助事業(補助率5/10)に取組む漁協に対して補助残の10分の5以内を補助する。	5	58,833,270	①氷船積み運搬経費(万円/年) ②安心安全な氷船積スペースの確保(㎡)	①110 ②0	①0 ②48	①0 ②48	100	達成	本事業により、漁業生産施設を整備することで、経費の削減・漁労作業の安全確保等が図られ、漁家経営の安定につながった。
54	糸島地区の「地域力」を活かした「医」「食」「人」で繋ぐ安心安全のまちづくり事業	水産商工課(商工振興課)	商店街ににぎわいを創出し、活性化を図るとともに、地域コミュニティの核となる商店街の果たすべき社会的、公共的役割の向上を目的とする。	3	34,386,304	イリスロードと名店街の各商店街の合計通行量(人/日)	8,386	4,190	2,237	147	未達成	商店街では、軽トラ市や夏祭りなど様々なイベントを通して、魅力ある商店街づくりに積極的に取り組んでいるが、やはりキーテナント撤退の影響が大きい。跡地の大型マンション建設に伴い通行量が増加すると期待しているが、目標達成に至っていない。
55	“なんでも糸島”プロジェクト事業～がんばる中小企業者応援補助	水産商工課(商工振興課)	経営革新意欲(やる気)のある事業者に、補助する事で経営支援、経営安定を図る。また、補助対象事業者の相手事業者を市内事業者に誘導することで、補助額以上の経済効果を狙い、市内商工業の活性化を図る。	5	26,572,800	市内事業者に対する経済効果(千円)	0	100,000	48,916	49	未達成	市内業者への発注が困難な業種等もあり、市内事業者に対する経済効果は未達成となった。
56	販路拡大推進事業(なんでも糸島カタログギフトサービス事業)	水産商工課(商工振興課)	糸島に伝わる伝統産業や特産物のPRを行うことで、新たな糸島ファン層及び販路拡大を目指す。	2	8,692,031	カタログ利用者数(人)	0	500	2,300	460	達成	カタログ本が多くの方に利用いただき、糸島の伝統産業や特産物のPR効果が販路拡大につながっている。一例をあげるが、カタログ本が、東京の代官山葛屋の目にとまり、葛屋において「糸島ー自然と手仕事」というカタログ本の商品を販売するイベントを約1か月半開催。関東地区において糸島ファンを獲得している。

57	糸島よかもん市場事業	シティセールス課	福岡県が運営するネット通販サイト“よかもん市場”のトップページに、『糸島よかもん市場』を設置し、糸島産品等の販路を拡大する。また、年間アクセス数約191万ページビューを誇る通販サイト内に、糸島市の一大広告媒体を形成する。	3	9,003,000	よかもん市場出店数(店)	0	60	26	43	未達成	・広報いとしま、ホームページで継続的に告知・募集をかけたが、出店数は増えなかった。ネット販売に積極的な事業者と、消極的な事業者とに二分されている。 ・ネット販売は糸島で産品等を購入できない顧客にとって有効であり、開設費用が安価なため市内事業者も取り組みやすいので当面必要。 ・今後、事業者に個別訪問する際に、ネット販売の意向を聞き取り、よかもん運営先とを積極的に結び付けていく。
58	買物弱者支援事業	水産商工課(商工振興課)	商店等へ容易に買物に来ることが出来ない高齢者を対象に、地域公民館等まで、生鮮食料品や日用品等を配達する。	3	0	移動商店街利用者数(人/年)	-	50	300	100	達成	長糸校区において月1回の出店要請があるなど、中山間地などの交通不便地域での出店ニーズは高いものと推察し、他地域への展開は可能と考える。
59	“なんでも糸島”プロジェクト事業～プレミアム付商品券発行	水産商工課(商工振興課)	市外への消費流出を阻止するとともに、市内での消費及び市外からの消費を喚起し、地域経済の活性化を図る。	1	10,000,000	商品券購入額(円)	0	1億1千万円	1億1千万円	100	達成	プレミアム付商品券発行総額1億1千万円(プレミアム率10%)が完売し、市内消費喚起による地域経済活性化が図られた。
60	観光振興推進事業	シティセールス課	観光地への2次交通アクセスの確保及びエコツーリズムの推進。	3	12,336,167	レンタル利用者数(人/年) ①超小型モビリティ等 ②レンタサイクル	0	①628 ②200	①300 ②554	①47.8 ②277	達成	【超小型モビリティ：未達成】 ・事業を開始した平成25年度と比べ、平成26年度は2人乗りの利用者は増加したものの、1人乗りの利用者が減少。また、電動バイクの利用者も減少し、レンタル利用者数の目標値には達しなかった。 なお、車両提供事業者の撤退に伴い継続できなくなったため、平成27年度以降は休止する。 【レンタサイクル：達成】 ・当初目標値を上回る利用があり、引き続き一般社団法人糸島市観光協会でレンタル事業を継続する。
61	いとしま海の祭典開催事業	シティセールス課	イベントの開催により、観光客の増加を目指すとともに、地域の活性化を図る。	2	19,190,000	見学者数の増加(人) ※観光客入込調査を実施	0	15,000	15,000	100	達成	・花火大会に加えてステージイベントや出店ブースを設けるなどにより規模を拡大し、市の夏の目玉イベントとなった。 ・今後は、地域の自立したイベントとして継続開催される。
62	体験型観光推進事業(クラフト体験事業)	シティセールス課	市内で工房を営むクラフト作家等は、100件を超えており、本市の貴重な観光資源の1つとなっている。この地域資源を活かし、新たな体験型観光メニューを提供することで、本市の観光に新たな魅力を追加し、観光入込客の増加を目指す。	2	4,920,000	体験参加者の増加(人)	0	4,000	4,067	102	達成	・工房めぐり体験、クラフト体験、農産物収穫体験、地引網体験、歴史ウォーキングなど、地域資源を生かした新たな体験メニューを充実させ、滞在時間の延長や周遊性を高めることに寄与した。
63	サイン整備事業	シティセールス課	サイン整備基本計画に基づき、来訪者へのサービス向上を図るため、旧一市二町のサインを統一し、新たなサインシステムの構築とデザインの統一を図る。	3	179,173,815	観光入込客数(千人)	4,504	5,070	5,332	146	達成	糸島市となった以降も旧一市二町のサインを継続使用していたが、統一したデザインによる整備が完了し、観光地周遊のしやすさ、分かりやすさに寄与している。
64	情報発信推進事業(緊急雇用創出事業分)	シティセールス課	いとしまの魅力をもっと多くの人に伝えるため、市内の観光情報やイベント情報等を積極的に発信していく。	2	19,455,000	フリーペーパー発行回数(回) 動画作成及び掲載件数(件)	0	①6 ②80	①6 ②82	①100 ②103	達成	・フリーペーパーについては、市内のJR駅、スーパー・コンビニ他店舗などを中心に配布し、旬の糸島情報を発信することができた。 ・動画については、市内観光名所、祭り、イベント、伝統文化、ドライブコースなど、本市のさまざまな魅力を伝えるコンテンツを揃えることができた。引き続き、ホームページで情報発信を行う。
65	いいね糸島PR発信事業	シティセールス課	糸島市の名勝・景勝地、文化財、伝統行事などを掲載するポストカードや名刺台紙を作成し、糸島の良さを県内、県外に広くPR、発信する。	1	2,907,000	①ポストカード販売数 ②名刺台紙販売数	0	①3,000セット ②6,000セット	①272セット ②7セット	①9.1 ②0.1	その他	・ポストカードは平成26年11月、名刺は平成27年3月の完成であったため、販売期間が短く、当初販売目標には達しなかった。 ・なお、目標値は、平成30年までの5か年で達成する計画であり、平成27年度以降も一般社団法人糸島市観光協会において、引き続き販売を促進する。
66	企業誘致推進事業(広告掲載)	水産商工課(商工振興課)	本社機能が集積する関東を中心に、経営者が多く購読している経済新聞に糸島リサーチパーク、九州大学南口泊研究団地の広告を掲載し、企業誘致を促進する。	1	1,500,000	企業立地件数(件)	0	1	1	100	達成	燃料電池車(FCV)の市場投入の直近のタイミングで掲載することができ、効果的なPRができた。
計					3,130,384,775						達成 未達成 その他	46 15 5